

ゆうあいスポーツ四国 リターンTOチャレンジマッチ 香川うどん大会



ゆうあいスポーツ四国大会が『リターン To チャレンジマッチ 香川うどん大会』と銘打って、10月15(水)・16(木)の二日間開催されました。一日目の四国水族館への見学はコロナが流行している中、希望者が多いとの事で同じ空間の中で密になる事を想定し、利用者様の安全を第一に考え中止しました。二日目の『陸上競技』には8名の利用者様が参加されました。

当日は早朝から小雨が降っていたので、大丈夫かなあと思いつながら出発しましたが、着いた頃には雨も上がり、晴れ間も出て屋外競技をするにはとてもいい日和になりました。

詳細は P1 へ

ポム・ド・パンの理念

- ・障害があっても、誰からも愛される人に成長できるように、丁寧に寄り添って関わります。
- ・障害があっても、正しいことを根気よく伝えることにより、何歳になっても成長することを信じます。
- ・障害があっても、できることが増えるように、様々なことを獲得できるように、一貫性をもって、継続して支援します。
- ・障害があっても、その方の得意なことを、大好きなことを見つけ、これを通して、生活基盤を作ります。



ゆうあいスポーツ四国

リターンTOチャレンジマッチ 香川うどん大会

10月16日(木)



2025年度 第39回ゆうあいスポーツ四国リターンTOチャレンジマッチ香川うどん大会が香川県丸亀陸上競技場（ピカラストジアム）で開催され、ウインドヒルからも8名の利用者様が陸上競技に参加しました。

それぞれの利用者様の得意を活かし、50 m走、200 m走、1500 m走に挑戦しました。とても広くてきれいな1周400 mあるトラックを使用し全員が力いっぱい走りきり完走しました。

暑さも落ちつき天候にも恵まれ、すがすがしい秋風を感じながら四国4県の施設利用者様との交流もあり、すばらしい刺激がもらえる1日となりました。日頃の的外食体験の積み重ねもあり、観覧席でのお弁当も上手に美味しく頂くことができました。

主任生活支援員 加藤 理江





三谷地区秋祭り 獅子舞奉納



10月11日(土)



10月11日(土) 通谷東地区より獅子舞を披露してくださいました。利用者様に「この伝統ある祭りの獅子舞を見せてあげたい」と思い、目の前で獅子舞を見せてあげることができてとても嬉しいです。これも地域との繋がりがあるからこそと思いました。獅子舞は想像以上に迫力があり圧倒されている利用者様もいました。獅子舞を通して地域の皆さまと楽しい時間を過ごすことが

出来たと感謝しています。伝統芸に触れ、また一年、利用者様が健やかに成長して欲しいです。地域の皆さまとは獅子舞だけでなく、これからも色々なイベントと一緒に過ごし、今以上に繋がりを深めていきたいです。通谷東地区獅子舞の皆さま、ありがとうございました。

主任生活支援員 松田 仁美



栂川ダム散策 9月18日(木)



9月18日(木) 塩江町にある栂川ダムに散策に出かけました。天候にも恵まれ、蝉の聲が残る青空の下、心地よく歩くことが出来ました。利用者様にとって初めての場所でしたので、キョロキョロしていつもより周りを見ているように感じました。散策中は安全に考慮し、ゆっくりを歩くように心がけました。ダムの高

さは見上げるほどの迫力があり、利用者様も職員も驚きました。自然に触れ美味しい空気を沢山いただき、心身のリフレッシュに繋がる有意義な時間となりました。利用者様の笑顔を見てこれからも一緒に施設外での活動を楽しんでいきたいと思いました。

主任生活支援員 松田 生活支援員 多田

大串公園テアトロン 日中活動



今年の夏は、毎週2回、マイクロバスに乗って大串公園テアトロンへ行きました。そこはイタリアを思わせるような白い石の神殿のような建物でした。大串公園に到着し、散策しながらテアトロンが近付くにつれ瀬戸内海が見え、利用者様の歩く速さが少しずつ早くなっていました。テアトロンからは瀬戸内海の島々を一望できる見晴らしの良い良い所でした。利用者様と共に暑い

中の散策、一緒に瀬戸内海を眺めてリフレッシュができました。散策中、突然立ち止まり瀬戸内海に見とれてしまうこともありました。香川県には自然豊かな素晴らしい公園が沢山あります。職員間で情報収集し利用者様と共に楽しい時間を過ごし、利用者様に沢山の経験をさせてあげたいと思います。

主任生活支援員 松田 仁美

お楽しみ運動会 8月19日(火)



8月19日(火) お楽しみ運動会を利用者様と一緒に楽しみました。体を動かす前にはかき氷を食べ涼しさを感じました。利用者様はかき氷機を見た途端、待ち遠しい気持ちが溢れソワソワする様子、覗き込む様子がありました。「早く食べたいなぁ」「(シロップ) どれにしようかなぁ」「(シロップ) どれにする？」など利用者様と職員の楽しい会話も飛び交っていました。かき氷を食べている表情は自然と笑顔がこぼれてました。その後の運動会では初めて仮装リレーを取り入れてみました。利用者様に新しい事を挑戦してもらうチャンスにもなり、利用者様一人ひとりの普段と違う表情、様子が見ることもでき新しい発見もありました。仮装を嫌がる利用者様はなくスムーズに進行できました。今回、初めて仮装リレーを取り入れて良かったです。今後も利用者様と共に楽しめる活動を増やしていきたいです。

主任生活支援員 松田 仁美

交通安全街頭キャンペーン

9月24日(水)



9月24日(水) 秋の全国交通安全運動街頭キャンペーンに参加しました。今年も秋の全国交通安全運動が9月21日～30日までの10日間行われ、その期間中に街頭キャンペーンが行われます。運動のスローガンは「歩行者優先 守るけん かがわ県」です。携帯電話禁止、シートベルト着用、飲酒運転禁止等のプラカードを持って沿道に立ち、ドライバーに向けて安全運転の啓発を行いました。

事務主任 小谷 一良

高松南消防署立会 避難訓練

9月10日(水)



9月10日 高松南消防署立会の元、避難訓練を行いました。隣接する実相寺山で火災が起こり、施設に火の粉が迫ってきている内容での訓練です。利用者様は毎月の避難訓練で、館内放送及び職員が発する掛け声で、何をしないといけないのかよく分かっています。職員の指示をよく聞き、避難時には慌てず落ち着いて避難出来ていました。避難場所でも消防署の方の話を座って静かに聞けていました。避難訓練終了後には、施設内の消防設備の立ち入り検査がありました。細かい指摘はありましたが、大きな改善事項はございませんでした。

日頃から防火・防災については意識していた成果だと思えます。今後も利用者様の安心・安全のための準備は怠らない様にしたいと思います。

事務主任 小谷 一良



健康まなび体操



2012年6月から、月一回、講師間まなみ先生が来てくださり健康まなび体操を実施しています。職員からは親しみを込めてまな先生と呼ばせてもらってます。身体全体を使って裸足で活動します。裸足で行うことは足の裏を刺激することが脳の発達に欠かせないと言われております。また、足の裏の刺激により全身の血行が促進され健康にも効果的です。なかなか活動の中でバランス感覚や柔軟性、姿勢の改善ができないことがあり、健康まなび体操を実施することで身体全体の改善にも繋がっています。音楽に合わせてリズム体操を行うなど運動が楽しいと感じられるよう工夫もして下さっています。職員は利用者様ができるように寄り添い、指示が通らない時は手助けをし、そして時には見守り、一つでも多く出来ることを増やしてあげられるよう関わっていきます。これからまな先生のもと利用者様と共に職員も一緒に楽しんでいきたいです。まな先生、楽しい時間をありがとうございます。

主任生活支援員 松田 仁美

じゃがいも種いも植付け

10月3日(金) 種頂く
10月10日(金) 種付



10月3日(金) 管理者が懇意にしている橋本種苗店様よりじゃが芋の種芋を S サイズ、M サイズ合わせて 10 袋頂きました。

植えるには時期が少し遅いのですが、10月10日(金)に利用者様6名と一緒に畑に植えました。

この日は天気も良くポカポカ陽気の中で、利用者様も移植ゴテを持ち、土を掘り、種芋をいれ土をかぶせる作業を久しぶりの畑作業なので楽しそうにしていました。

全部で7棟、約2000個植え付けました。野菜の植付けは不慣れな為どれだけ実がなってくれるのか分かりませんが、今から収穫の事を考えるとワクワクします。

今回植えたじゃが芋の品種は「デジマ」です。温かい地域での栽培に適した性質で、収量が多く、調理すると煮崩れがやや少なく食味に優れ、煮物やサラダ、揚げ物などいろいろな食べ方ができ、また新じゃがとして出荷されるものは皮が薄いので、皮ごと調理できるのもポイントだそうです。

事務主任 小谷 一良

高山航空公園散策

10月3日(金)



10月22日(水) 高山航空公園へ散策に行きました。当日はあいにくの雨の中の散策になりましたが元気に歩く事が出来ました。日々の健脚の積み重ねの成果だと思います。天気の良い日は高山航空公園から高松空港の滑走路を一望でき、離陸する飛行機が上を通過する様子も見ることが出来ます。今回は古い飛行機の実機展示を見学しました。途中、高松空港へ行き、利用者様は飛行機が着陸するところを見て嬉しそうな様子がありました。利用者様の中には飛行機を指差し「飛行機。」「飛行機おった。」「(飛行機) 見た。」と職員に話してくれる様子もありました。飛行機を通じて利用者様との会話も弾み、今回は雨で残念でしたが、また天気の良い日に高山航空公園へ行き素敵な景色を利用者様に見せてあげたいと思いました。

主任生活支援員 松田 仁美

三谷地区文化祭

10月31日(金) ~ 11月2日(日)



10月31日(金)~11月2日(日)の3日間で三谷地区文化祭がありました。31日(金)と1日(土)は三谷コミュニティーセンターにて、利用者様8名の作品を展示しました。利用者様の作品を通じて地域の交流に参加すると共に、利用者様の作品を見てくれた方に自閉症の方が作る作品の面白さ、器用さを感じてもらえればいいなと思い展示しました。三谷地区文化祭にお立ち寄りくださった方々ありがとうございます。

主任生活支援員 松田 仁美

地域連携推進会議

9月11日(木) 地域連携推進会議を開催いたしました。この会議は令和7年度より義務付けられ、地域の関係者を含む外部の目を入れ、施設等と地域が連携することにより、「利用者様と地域の関係づくり」「地域の人への施設等や利用者様に関する理解の促進」「施設等やサービスの透明性・質の確保」「利用者様の権利擁護」を目的に、より効果的かつ確実に達成する為の会議です。事前に委員になって頂きたい方に連絡し、ご承諾を頂きました。

た。参加者は利用者様、利用者様家族、地域の関係者、福祉に知見のある人と施設職員が出席し、①施設の紹介、②現在ウインドヒルが行っている地域との連携について、③施設内見学等を実施致しました。出席していただいた委員の方からは全体的に好印象を持っていただき、実際に見てもらうことにより、ウインドヒルの良さをアピールで出来たのではないかと思います。

事務主任 小谷 一良

職員研修

7月

令和7年7月14日

「虐待防止研修」

障害福祉サービス事業所ええる

管理者 徳永 実氏

障害福祉サービス事業所ええる 管理者 徳永 実氏を講師に迎え、「虐待防止」について研修していただきました。障害者支援に於いて基本的な内容で、「何故障害者に対して虐待をしてはいけないのか?」「障害者虐待防止法は何の為にあるのか?」「虐待にはどういう種類があるのか?」等知って当たり前のことを改めて学びました。虐待に関する考え方は一人ひとりが違うのではなく、共通認識としなければいけません。適切な関わり方、不適切な関わり方を職員全体で共有し、利用者様の為の支援をしていきたいと思ひます。



8月

令和7年8月4日

「人材育成研修」

主任生活支援員

加藤 理江

主任生活支援員の加藤職員が講師となり、人材育成研修を行いました。テーマは「他害・自傷のある強度行動障害のある利用者様が少なくなった今、私たちがすべき支援について」です。強度行動障害とはどういった特性があるのか、その要因はどこにあるのか、職員としてどう関わってあげたらいいのか等、基本的な事を学んだうえで、障害者支援をする職員として何が一番大事な事なのかを個々の利用者様の特性を皆で話し合い、スキルアップを図りたいと思ひます。

● ご寄付 ●

8月21日(水) 三和電業株式会社 高松支店社員一同様より

職員1人ひとり善意の気持ちを結集して寄付を頂きました。

ありがとうございました。今後ともご支援の程宜しくお願い致します。



9月

令和7年9月8日

「感染症について」

主任生活支援員 加藤 理江

主任生活支援員の加藤職員が講師となり、感染症について研修を行いました。障害福祉サービス事業所における感染対策について感染症の種類、感染経路、予防策などを過去の経験を元に職員の共通認識とする為に改めて学びました。現在もコロナが変異して新たな症状が確認されております。またこれから寒くなるにつれてインフルエンザも流行してきます。自身が罹患することを予防することはもちろんの事、他者に移さない対策を講じることも大切です。福祉事業所に勤める職員として体調管理にも気を付けなければいけませんし、いざという時の初動対応が非常に大切になってきますので、職員同士の情報共有も大切です。

10月

令和7年10月21日

「自閉症スペクトラムについて」かがわ総合リハビリテーションセンター

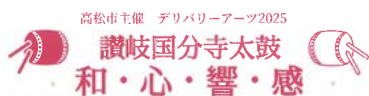
福祉センター 地域生活支援部 地域交流課 主管 大野 香織氏

かがわ総合リハビリテーションセンター 福祉センター 地域生活支援部 地域交流課 主管であり、作業療法士でいらっしゃる大野香織氏を講師に迎え、自閉症スペクトラムについて「暮らしの中の発達障害～場づくりの視点から～」というテーマで研修していただきました。作業療法士の観点から自閉症について、ご自身の経験も交え、実際の生活の中での自閉症の方の様子が伺える内容でした。研修の中で「障害は特別なものではない。誰もが持つ状態である。我々職員は利用者様誰もが自分らしく暮らすことを応援するチームでなければいけない。そのチームの中心はもちろん利用者様本である。その人が動きたくなる生活を自分で決めるのを応援する。」の言葉は非常に印象に残りました。チームの一員として職務に当たりたいと思ひます。



お知らせ デリバリーアーツ2025

今年も高松市主催の「デリバリーアーツ 2025」の協力団体募集に応募し、「讃岐国分寺太鼓」の皆さんに公演に来ていただくことになりました。耳で聞き、身体全体で感じる和太鼓の力強い演奏を味わいに、皆様お誘いの上、是非足をお運びください。



永年勤続記念品授与



福利厚生センター(ソウェルクラブ)より永年勤続表彰として、今年は3名の職員がそれぞれ20年、10年、5年の記念品を授与されました。ソウェルクラブは社会福祉の職場を魅力あるものとするために福祉関係者の強い要望を踏まえ、社会福祉事業に従事する方々の福利厚生の増進を図ることを目的に、1994年に設立された社会福祉法人で、当該事業を行う全国唯一の法人として厚生労働大臣の指定を受けています。これからも職員が長く働ける職場でありたいと思います。

職員募集中

私たちと一緒に利用者様の成長を見守りませんか

新卒・中途職員を募集しています。見学希望の方はご連絡の上いつでもいらしてください。

職場体験、ボランティアも随時募集しております。詳細はHPをご確認ください。

お問い合わせ先

事務局 採用担当

松原・宮武

TEL087-888-4277

ウインドヒル HP

www.pomme-de-pin.or.jp



社会福祉法人ポム・ド・パン後援会会員

敬称略・順不同

●令和7年度個人会員 令和7年7月1日～令和7年10月31日 四角 整子 森 里子 鏡 直子 松下 繁美 アカマツ株式会社

令和7年7月1日～令和7年10月31日現在、以上の方々に継続及び新規にご入会して頂きました。

令和7年11月1日以降にご入会の方々は、次の会報にお名前を掲載させていただきます。本当にありがとうございます。

社会福祉法人ポム・ド・パン後援会のご案内

社会福祉法人ポム・ド・パン後援会は、当法人が運営する障害者支援施設「ウインドヒル」をサポートしています。今後長年にわたり、利用者一人ひとりを大切にしたい理想的な療育を行い、施設の整備を継続的に発展させてゆくには、より多くの方々のご支援を必要としております。

何卒、私達の趣旨をご理解いただき「社会福祉法人ポム・ド・パン後援会」にご入会下さいますようお願い申し上げます。

なお、すでに会員の方には毎年度初め4月1日付で継続お願いのご案内と振込用紙を送付しております。よろしくお願いいたします。

[年会費] 個人会員 一口3,000円 団体会員 一口10,000円

[ご入金方法] 郵便振替 口座番号 01690-3-74305 口座名称 社会福祉法人ポム・ド・パン後援会

あたたかいご支援、本当にありがとうございました



社会福祉法人ポム・ド・パンのホームページです。当法人からのお知らせやウインドヒルでの取り組みなどを随時更新していますので、是非ご覧ください。スマートフォンでは、右のQRコードから読み取れます。アドレス: <http://www.pomme-de-pin.or.jp/>



社会福祉法人ポム・ド・パン

編集後記

うどんだけでなく、実は日本一犬好きな香川県であることを知ってましたか。厚生労働省が2024年に発表した調査結果によると、100世帯当たりの飼い犬の数は香川県が15.37匹で全国1位だそうです。編集者の私も3匹のMIX犬を飼っていて、2匹は生後12年と高齢ですが、後1匹は生後半年のポメプーで、いたずらでやんちゃな男の子です。毎日家の中で追いかけていますが、それが癒しになっているのかもしれません。



松ぼっくりのポムです。



松ぼっくりのパンです。